

911.3

八

上·下

雜譜
又名錄
初編

董齊

る

子

董齊

盛義

る

とや仇波のそとに

友をたよりあるは

二ノ位をひきかへぬ

とよあうと四は

ニと記ハルニ付テモ、コトナリ

ニ、カキカガキ、ハ、ア、イ、ウ、エ、オ

ハ、ル、ニ、サ、シ、ス、セ、ソ、タ、チ、ツ、テ、ト

ニ、ハ、ニ、ハ、ニ、ハ、ニ、ハ、ニ、ハ、ニ、ハ、ニ

ハ、ル、ニ、サ、シ、ス、セ、ソ、タ、チ、ツ、テ、ト

このニハ、ル、ニ、ハ、ニ、ハ、ニ、ハ、ニ、ハ、ニ

ハ、ル、ニ、サ、シ、ス、セ、ソ、タ、チ、ツ、テ、ト

ハ、ル、ニ、サ、シ、ス、セ、ソ、タ、チ、ツ、テ、ト

ハ、ル、ニ、サ、シ、ス、セ、ソ、タ、チ、ツ、テ、ト

ハ、ル、ニ、サ、シ、ス、セ、ソ、タ、チ、ツ、テ、ト

卷をひらきよるおのころききく一ひとて
とく集とは世よりいふを知らるる
遠くちのきく此風雅の女に此の
さしん序のり

坎窩由拙言



梨園有名班脚色帖
官途有鴛行鷺序簿
俳諧場立宣旨此舉惟
草盃兄著俳諧人名録

把三十六圖天罡七十二座
也煞盡染括于此卷中夫
而後今人之居新通稱
一覽可知何必步包沙勝
越山涉水方纔稱泛交博

大真人曰不出戶知天下不
窺牖見天道其此之謂乎

鷗巖閑人守却約識



凡例

四十八字の能字不雅名を改字或配当する
是如しの便宜をとりて撰りて
向順に次ぎて西列にたのむるを
多を福を寺替向がまゝ出願を
かゝるはそはたすべし
向然の如くも察し
利記加ふ

俳諧人名録初編

東都 惟草 俳諧輯

一具 葎 一具

東都中橋北
榎町御油座

系の中 誤おろし 多分 庵
一 代も 蓮の中 あり する
流山 不 なる あり あり あり
結あ 一 十日 あり あり あり

東都四ッ谷
定橋町
大和屋作若衛門

攝津布屋町
犬齋橋西^上入

東都青山住
千葉季義

東都^ノ右門町
足立平左衛門
別号^ノの木菴

千里城一樓

山内^ノとん幹^ノを花^ノの^ノいさ^ノく^ノけ^ノ
雨^ノ暁^ノを^ノよ^ノみ^ノこ^ノは^ノあ^ノ高^ノ蒲^ノを^ノさ
い^ノさ^ノり^ノや^ノ終^ノを^ノの^ノは^ノ雅^ノの^ノ国
ま^ノお^ノ葉^ノ吹^ノを^ノも^ノは^ノさ^ノり^ノ如^ノ

八千坊一前

かい^ノは^ノあ^ノり^ノ浮^ノわ^ノり^ノあ^ノみ^ノの^ノさ^ノく^ノし^ノ
ち^ノき^ノし^ノし^ノ並^ノの^ノお^ノよ^ノの^ノた^ノま^ノし^ノみ
を^ノえ^ノを^ノり^ノあ^ノり^ノ月^ノの^ノい^ノう^ノう^ノさ
と^ノも^ノさ^ノり^ノさ^ノり^ノあ^ノり^ノ枝^ノの^ノさ^ノ

蒼園一志

花^ノの^ノあ^ノり^ノけ^ノの^ノ考^ノり^ノあ^ノり^ノあ^ノり^ノ
を^ノは^ノく^ノの^ノ小^ノ橋^ノを^ノあ^ノり^ノあ^ノり^ノ
草^ノの^ノた^ノや^ノ月^ノを^ノあ^ノり^ノあ^ノり^ノ
ま^ノさ^ノり^ノあ^ノり^ノの^ノ遠^ノく

草蓬居一蕙

恩^ノを^ノあ^ノり^ノ醫^ノ者^ノの^ノ吐^ノも^ノ二^ノ月^ノの^ノ形
夕^ノの^ノあ^ノり^ノや^ノ涼^ノを^ノあ^ノり^ノあ^ノり^ノ
明^ノ月^ノや^ノあ^ノり^ノを^ノあ^ノり^ノあ^ノり^ノ
あ^ノり^ノあ^ノり^ノあ^ノり^ノあ^ノり^ノあ^ノり^ノ

東都青山御寺
大工町横町
佐藤彦二郎

南總武射縣
吹入号天堂
鈴木直右衛門

伊豆玉澤

東都
胝氏
号知白庵

栢南舎有圖

二之間ひきくくくく楳の月夜奉
何りのちも何りのちも更衣
醒るしよきよのち月見の地きく
葉を休あまふまを極くまこり

飛鳥園一雙

あらしあけをくくくくくの中
あらしあけをくくくくくの中
あらしあけをくくくくくの中
あらしあけをくくくくくの中
あらしあけをくくくくくの中

妙法蓮華寺一瓢

片所くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく

城宗樓一貴

くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく

常陸土浦

大町

内田由平

東都神田

明神阪下

稻生氏

江州湖東杉の本の

くさくさ 嘴青き

おのこが

色ふやのく

おら

日々の

くさくさ

奥州箱館

深瀬公濟

如 伸 葦 一 屈

く免内を折るけ埔の川にた
時をえさうも争いぬらゝを
是くさくさぬをわさの唐か
たうらゝれにぬをいさうらゝ

秋 架 園 怡 兮

土地ののりけちぬらゝ
拙子やほちをなすぬか
ハ朔やいふところをさる
造る木の枝ををさる

天 杓 菴 一 嘯

か入る折るを柳の如
らんえはくさるをけぬひ
らんえはくさるをけぬひ
柿木くさるをけぬひ

深 瀬 一 甫

ゆきも地をいさうらゝ
先くさるをぬをぬをぬ
茶くさるをぬをぬをぬ
花をぬをぬをぬをぬ

葛飾竹街
佐藤氏
号麗水
又柳樊園

東都紺屋町
三町目代地
一号瓢顛

信州水内郡
赤沼

東都神田
富松町
越川庄五郎

萬醉大夢一醒

夢中の趣をばさうと茶飲の
閑子とりけさうつと西川降らぬま
細布の念珠一けりぬる宿
山はも禱るゝる新假寐く柳

可布菴逸淵

花のまをさるゝのれをさるゝのれを
門のけりけりけりけりけりけり
多味思しぬ糸の更りぬひさ
魚のけりけりけりけりけりけり

辨地堂有師

を考へる浅きつとや不二の心
海をさるゝまをさるゝまをさるゝ
出づるかかつと月夜や春の
松のふ枝る木もぬるゝ冬

柳下菴伊丸

後徳の柳を柱とす松根の柳
毎正念や舞のしとまをさるゝ
黄ののれは新酒さるゝ山家茶
少許るは舞をのえ申る枯柳

江戸本所一之
橋詰 酒商人
俗稱 房五郎

出羽秋田
久保田藩

鵬 菴 一 盃

多しの菓なき汁多き岩根の乳
瓜の皮とるもむくやた まき、
蔓又曳けはよもくも秋のふ
大根のむきおろし

井 阪 由 之

えきほくしきり小刀入る掃梅乳
晴らるるんそり石掃とやうきつ
啼 鶉地へたるよとおろし
掃とるききり遊してえきり教紅葉

東都芝口

三町目

翁屋清十郎

秋 月 菴 一 翁

紫花も田舟の花のそり
すししをききまうせり
啼 鶉地へたるよとおろし
掃とるききり遊してえきり教紅葉

遠 藤 夷 則

初平やまゝ板塀の淡くはた
は 燈をほけり多れい来る燕子
啼 鶉地へたるよとおろし
掃とるききり遊してえきり教紅葉

奥州相馬
中村人
一具菴寓居

武州女影
北野又兵衛

南總武射郡
殿部田邨
大木幸左衛門

東都八町塲
代官屋鋪

雲水
釋天然

一 勢 尊 有 隣

邪ノテキキ本も育候のニテハ梅の茶
垣こそをふもそのあつとたふふけり
ゆもとのニテキキのすゆもきぬこ
もも水辺のニテハなりのれ

二 國 坊 一 貞

まきまのりきうと松吹 磯家ノ邪
鷺のまきまの田は解ノ植んけり
葛師や秋をりしりまの葉
狗り子のりてりちんりつりまの葉

根 本 露 谷

鳥をり人をいれり入りけり
月をいれり是れりえすりき
せりのりきききしり秋のり
取雁哉はりりきききき

幽 扉 弄 化

くくくく和性なりぬりちりちり
透り切り前りけりりりりりり
暮り正礼りけり子りりりり
木がりしり馬りりりりりりりり

東都大阪町
玉那氏

萬松亭 をも記

喜柳や水うへ阿けり 来多は
いふとく月の出りす 子
二洲くみはる 茶ちる 柳
い考掃く 内と考系り 庭すり

柴 卯居 濱吉

乙島の水きりす ゆく日あつた
まふりまきり 成まきまきり
えのこしとく 恋のぬく 魚のさくちり
栂のこしとく 恋のぬく 魚のさくちり

武葛西柴又卯
鈴木氏

六合茶 萬里

夜一炊く 油くちりや 芦の角
らふり 割る 瓜くちりや 芦の角
何とまり ぬく 魚のさくちり
菜大根や 煮を油 ぬく 魚のさくちり

北越見附

翠濤園 萬頃

あつたは 水きり 月の出りす 子
一たつたは 水きり 月の出りす 子
名月や 照る 庭の 露
とつたは 水きり 月の出りす 子

東都御藏前
新旅籠町
伊勢屋
村林瀧次郎

東都神田
鍛冶町
号白雄房

東都柳橋
石井忠七郎

幸田太左衛門
三州岡崎人
隨桑谷山人入素
得傳法移居于江
戸藩邸

東都牛込住
在甲斐谷村
中郎定吉

年々菴梅雪

雪降るる正月免う寸田西の如
くは脱くうんまをさかすし閑子を
女一布ふしのま月夜はなまをけく
ちくちくやまをさかすまの思

雀齋 白起

喰はるやまをさかすまの思
川風のまをさかすまの思
むさうまのまをさかすまの思
何れもは夜うせの起ますまの思

夜光菴 兀人

く免はるやまをさかすまの思
隙のまの日のまをさかすまの思
さうまをさかすまの思
まのまをさかすまの思

不倦齋 芳谷

娘入の道具をさかすまの思
日向かすまをさかすまの思
いさかすまをさかすまの思
山吹のまをさかすまの思

東都深川
乙幡氏
入八采門兼嗣
蟻磨号

蟻磨齋 梅坡

蟻磨齋の齋名
ひる鳥のさうや
つらぬの志
まこといふ考
日のまき

用休 菴 梅 汁

菴の齋名
雷のむつ
難のむつ
難のむつ

武洲藤折宿
齊藤八郎兵衛

花神窓 萬籟

花神窓の齋名
里のさき
向か
名月の暈
た

夢遠合 梅 通

夢遠合の齋名
三ヶ日
度
は
餅花の

京下立賣室町
西上入荒木氏

京竹屋町
金座角
俵屋六兵衛

羽州秋田藩
武陽下谷三
絃堀郎
石原氏

東都神田
今川橋
木邨氏母羨彌

行脚・
号現在坊
田中氏

北總八日市田町
土屋仁左衛門

寒月養梅峨

色もれも又もをせしむら
我うけを子う何白まき
もぬもまもをわられ寸何まの
似みちのいり命もある枯跡

綾 梅之

あつりゆよされん何や
あふらしきうえ身うれ
山けをちつ寸五や
綾とやかりけをきれ
いせの

丙 舎 白 桂

あふらしきうえ身うれ
あふらしきうえ身うれ
あふらしきうえ身うれ
あふらしきうえ身うれ
あふらしきうえ身うれ

東風真梅里

あふらしきうえ身うれ
あふらしきうえ身うれ
あふらしきうえ身うれ
あふらしきうえ身うれ
あふらしきうえ身うれ

東都麻布
廣尾町
荳原藤兵衛

下總源田河岸
名主新右衛門

下總国印旛郡
佐倉在大田郡
芦田元充

信州水内郡
石村宿

弄雀高梅童

山崎の中かきまや法よりみ川
成さきき鳥さうつ掃多葉く掃
突あさうく大根さけけや秋の月
泥阿て落葉りやまや下竈

不言堂 方舟

けかかしかきまや法よりみ川
橋錢といまれを扇とくくけり
まきのまを子まきききききき
阿いまききき水の流るるききき

木母樓 春雄

赤いのをまきききききききき
是口の傳きききききききき
旁ききききききききききき
まききききききききききき

寒岳園 白齋

袖はきききききききききき
氣味きききききききききき
換り日のめききききききき
あれたきききききききききき

東都向柳原
肥前平戸藩
菱田氏

菱田芳居

垣越した京阿久もこの存
里寺や去る人なとも佛生會
人先、居のせつつく目えぬ
芦の根を軒のふこく小を草

當日日奔梅表

離柳や障の白ひり輝の白ひ
うら 言ふ縁あへおろす旅うね
ちんちんのちんちんききまきの盛うね
習ふうう別く業あううと 縣はま

下総國千葉郡
積橋村
鷹岡藤左衛門

大年廬八景

炊場の二多んげこや芦の角
軒の晴ふとおおーめさる舟木の奥
扉ふひくやむとし沈むおろのさ
三ふ中ふく木保き山の初しと世

魁六軒 萬古

凍るう屋もふんて落る考をまよふ折
山際や水雨ふ折まふはふ合斗
等ふふも折く直まや女布ふ
ふや折ふ葱提すゆく西日ふ飛

東都西國
藥研堀号
桿葎泉松

東都中橋
正木町
繪物屋源次郎

信州諏訪高嶋
藩高木門兵衛
号龍鱗齋又
閑亭

龍鱗

西青更

白外

よ祭さうり人の又さうりは接徳の
お買一し出さうり障とさうりや夏の日
甲れやすお太蘭了さうりはえ不奉
らるさうりも珍さうりえさうりや帰一を

尾花菴方居

約言さうり轡を鞍也甲小柳
夫折さうり駕さうり以れ下我妹紅
秋をさうり切さうり早る急務花
脂さうりの雇をとらさうり門徒寺

水戸太田
鳥居太助

石倉風朗

さうりさうりの崎さうりうりをさうり風
掃さうりたさうりおさうりのさうりや致さうり屑
秋さうりらやさうりはさうりさうりさうりさうり
煤掃さうり付さうり目さうりめさうり

橙菴甫舊

折さうり横さうりさうりさうりさうりさうりさうり
さうりさうりさうりさうりさうりさうりさうり
百姓のさうりさうり雨かさうり薄紅紫
さうり乃ねをさうりさうりさうりさうり世さうり

東都芝飯倉
片町田川氏
号自然堂

長崎本紙屋町
号松壽軒

東都日本橋
西河岸

疆之奉北元
桐の木の葉をまねて
年菊を大にとりて
を去る社やふいと
追逐を

文行菴木志

桐の木の葉をまねて
折流さうとて
衆多

東都鳩売町
谷山氏
東

上毛新町
海老屋金右衛門

合歡堂鳳石

鴨嶋 やま
大なるの人
茶の花や

柳池畝古

牡丹
あつた
おとけ

東都豊嶋町
池田屋儀兵衛

東都中橋
植町

神通菴木北

我袖を不きれすも不二の山を
えりて三ノ高さをえとてくち
これかろく不きちまのくち
不二斗山のまのいをなまふく

恒齋木雄

秋垣のふる葉とれきく
考く人きくまの道房の
第のれちちやをちちや
天さるれちちやをちちや

加州大聖寺
鍛冶町
二見屋之兵衛

依田北

余をさく日をさくし
夜初うり休む日のな
耳の根をゆきゆき
水仙やあち垣をさくし

柳下真豊水

くさくさ花は谷河けさく
葛蒲ぬく花さくさく
同をさくし二階のう
岩舟も湊入くさく

加州大聖寺
耳聞山
依田彦左衛門

近江国水口住
倉田氏

東都馬喰町

七層亭にすまふとく合和流の暮
拍まふ日ら雨自ふ玉月柳
静民を現るうらや定む柳
河舟より戸とてあゝ泊り水

津村 元年

福芝齋得燕

月の出さず精進庵のけらう柳
二三人極んのききう早苗う
明自や余をまへてまきし庭うけ
うらまに傘もいさうと途一中の

黙菴 桐雨

又々々魚をり曳ふに松うかろ
早乙女や泥年出さう恨まき
船書う報謝流うのそや森を
あつ紫ちるきりる音とを替うけ

小喬 斗筵

空多りの風うらた祭波うら
村中、空の湯う入るあやう
一浪のぶれ松のうらまよ玉の川
日のおちれ名残の足ゆら小恙を

下總佐原
伊能彦作

東都本町
鹽河岸
酢屋宇兵衛
号 十時菴

東都本町
高家
梅田吉三郎

東都霞ヶ関
筑前福岡藩
号盤古
柏原良作

東都京橋
彌左衛門町
福山啓助

江州甲斐郡
下駒月村人
西澤和助

松霞洞等仙

馬のつらき一匹あきハ柳一柳
はあつちふくまかひくまか見く車
おのつちや阿くまきくまきさ松やほ
我門の柳もあきくまきくはけ少

松頂軒洞天

猫の子もぬこくまきくまきく
まきや阿くまきくまきく馬のくま
おのつちや阿くまきくまきく残くま
白着くまきくまきくまきくまきく女

草窓亭免水

約朱のくまきくまきく紙く柳
おのつちのくまきくまきく藤の夕月
入る月のくまきくまきく秋の故帳
あきくまきくまきくまきくまきく柳

獨柳軒斗筭

くまきくまきくまきくまきく夕月
あきくまきくまきくまきくまきく
くまきくまきくまきくまきくまきく
一星月くまきくまきくまきくまきく

東都難波町
裏河岸
池田與左衛門

存室斗米
枯葉や 鶯の聲が 山吹の香
さくらんぼの 水に 降るを 杜若
ももろの 穂を むらさ 紅紫の 雲
いはゆる 雲の 影を 照らす 枯葉の 影

水哉 遅流

まの 柳や ちのきを ぶら 人帰る
眼の 果の 高さを 投こす 早苗の
酢の 柳の 水すまき くるさ 店の日
を 玉と 知らず 昔 黄く 候ふを

桃徑舎ちう娘女

ちう 付 離水 緑なま 虫の はな
柳の 茂る 寺とも 柳の 考
お 舞ふ や 一 枝 おき 小 ちん
幸の ねん せ 人の まん けり 冬 の 柳

竹 廻 屋 千 節 女

まの 柳の 水に 降る 雲の 影
さくらんぼの 水に 降る 雲の 影
お 舞ふ や 一 枝 おき 小 ちん
幸の ねん せ 人の まん けり 冬 の 柳

東都神田
今川橋
木村定次郎妻

東都淺草三谷
新鳥越
海老原藤八妻

相州大磯

鴨立奔 雉啄

山もや人の心かきしりさのさす
梅もよもすけりしりさのさす
北ちししとるる梅もあやの月
口切し鳴りしりさのさすけ道

養雅堂 史磨

水もまきしりさのさす
雲もまきしりさのさす
けしりさのさす
山もまきしりさのさす

緑日園 雅堂

くくいさのさす
親井た、単品をさす
白菊のいさのさす
せばかくのさす

三宜亭 竹府

折るれりのさす
消る火の男がれり
又月やすこの水も
埋火や東寺のハツを

東都本郷元
町三町目
林軍次郎
号木念人

下總印旛郡
佐倉新町
若竹榮造

東都本郷
号篤園閑人

(9)

下總市川根本
水谷近江掾

大改御靈筋
道修町東角

寛：二亭竹生
青柳の万一とせり、亦亦
か〜尻〜成事の付し、後、形
藤籠をのりぬ、形〜ま〜の意
まを、まの〜に、か〜を、意、掃除

北良城 林曹

まの午也ニ、北良子、一市、埃、利
か、る、河、を、一、〜、火、務、毎、て、河、を、電
河、の、り、の、あ、〜、ま、く、〜、ま、の、〜、形
〜、と、い、ま、の、〜、の、〜、ま、の、〜、形

草乳家耕芝

粥、杖、を、ふ、い、〜、〜、計、又、梁、の、工
ま、中、の、ま、の、筋、の、月、夜、の、形
あ、さ、い、や、さ、〜、物、ま、〜、白、形、の、奥
木、石、の、ま、〜、水、俣、下、日、を、い、〜、ま、い

柳堤 流芝

流、芝、〜、ひ、ま、い、〜、〜、川、越、〜、め
川、越、〜、〜、医、者、の、形、〜、お、や、杜、〜、
〜、形、〜、お、寺、の、ま、の、形、〜、形、ま、〜、
は、ま、〜、〜、〜、〜、〜、〜、の、友

(9)

三洲岡崎
随念寺門前
大和屋源右衛門

武川秩父久那之
郷落合那
落合氏号如蠶
東都豊嶋町住

東都横山町二
町目書肆
永固堂
松屋勘左衛門

東都本郷二町
目萩原氏

武州入間郡所
澤三上平次郎母
行年十五歳

武州多磨郡
柳澤宿
角屋権右衛門

浦田柳美

さき水とて流るめく田水
凍りけり尾をくさる
氣をうきさるる成る
流りさる乾控ゆく枯野
柳

竹葉新柳字

葉と水とていん甲
二掃とくさくさる牡丹の
花を売賣る老の力や
花と水とていん甲
初付雨

野遊夢日女

森は起つ妻と雨を
さるるもを峰よりも
秋の夜やけりけり
さるるもを峰よりも
山の形

琳松高柳英

高柳高蒲傘さるる
大高を降すおそる
門遠くしそるも用
師走

駿府材木町
白鳥治郎左衛門

東都浅草燒池
丹園藩林氏
号柏林堂又俳素
閑人

下總香取郡
府馬村
宇井作兵衛

東都芝山下屋
鋪麻布一本松
住千分之嫡男

雪哉居柳普

小雪降る日とくふひのききき
遠くせやふとく位とくふこふとく
此の心も我も忘なきし唐うら
百姓の夢をたぐふもやあゆむ

窓月庵里曉

窓のふしをたぐふ世とあし梅不月
うらふりのささるたぐふとる二日月
曉也我の何のハ不二も由く
得葉やふの中心へ何を降る

竹葉堂李一

竹道とく、考ふなきやうめの花
玉月雨やたそくのきくぬ火打笑
冷泉や田をたぐふもまきくの世
日のとるはくひもくらぬ巨燈を

岡崎利器丸

ちねくすくき海もたぐふもきくひり
月夜もく雲もくはくをくくまきぬ
虹の根をくはくくらあり昇る月
垣一きあをく再くく帰るね

東都堀売町
辻氏

辻里松

つらねや蹄をさほしの人通マ
あつても生臭のよまる卯月を
空崎や度いそぐりの花や記
何事をもさし月のむなよをて記

一陽 柎 和

くさくさや難波津雪の砂のこ
蓮ふ祭ふれいそぐしーかこきさ
弊さすうね實の月のちけ草
くさくさもさつし一夜のちこさ

尺木堂龍石

植切ふもろ切うもろくを自ふ
きうの月海をさくらく船もさ
掃とくやまの落葉をふ記やふ

朽縄菴離外

権さうおくもろくちん折らん山極
ちぬしーまろ消てまひぬ火おひ
ねのまてかろーまろなりままめ
一村と葉さうろ井なり崎さる

東都神田黒
門町
号俳月閑人

東都浅草田
原町
月院社息

東都小川町
大銀杏之邊
丹園藩
号俳吐閑人

東都新橋
三十間堀
目橋本善藏

下総葛飾郡
小金領國分村
栗山三郎兵衛
行年七十一歳

東都淺草
御藏前
山田屋若清門
妻佐多
号花笠

東都本所南
割下水
天野榮三郎
号一清菴

少風舎柳志

あのみを遊むをすくふる柳の
照らすにけしき出さるやまの峰
宿崎やふそく出さる月の
吹よきそり月に隈をたはる

不易菴里相

くえきくやえもふとる水の
あゆみさや梅の中まをる月の
いくあ里隔るあ月の清さる
三越活や隣りらるのま

梅 史 舎里春女

花を我なすとのつとるえき
あゆみさのうつふを初菴子
天の川をのりてあきく
正史すよつれつある十夜

二起園柳水子

あゆみさる二夜降る茶まの
何ややらさるるひさの清
水は
中流さるい
うを海をくまをたはる枯

五九

東都浅草新
堀藥師堂前
前田萬藏

清秋葺 和月
融壺くふくくくくくくく
あふはくくくくくくくく
竿の葉の蔭くくくくくく
く魚くくくく帰くくくくく

柚 菴 曰 人

離のさく抱くくくくくく
たのちんくくくくくくく
城の袖くくくくくくく
居くくくくくくくくく

奥州仙臺人
号芭蕉菴
遠藤伊豆之助

義 仲 寺 開 高

茶まななくくくくくく
あくくくくくくくくく
くくくくくくくくく
まのくくくくくくく

一 嵩 嵩 居

くくくくくくくくく
果船も船くくくくく
啼くくくくくくく
まの甲もくくくくく

江州粟津

豊前中津
原九一

武州慶澤
三上半次郎

駿陽沿津藩
星野次郎齋門
号一諾浮龍

東都馬喰町

信州更科郡
姨捨山庵主

三上 健年

鶯の鳥のなぐりゆく運ぶ西の空を
さけりゆく内言ふれりゆく土田のし
秋の暮らとえきく通る月が宿
しとくや木を伐てるる数の中

天均菴閑鷗

夕東風の吹くもあやまきの中
おしとるる味あふ一箱の口はり
いはなれ相をうらみそ一禁
物夜さのきりゆくる御

兒玉 何年

万歳の傳永流ありゆくゆ
黒門のぼり後ありし月をきき
満池へ向ふりや天の川
来月や探る流る酒をさ

長樂寺健月

ち家のまごころと何をも男の柳
山道やるをうけまを茨のそ
親子しきり俵あふりゆく秋の西
山菊をのさきや雄井の白知

カ

十二

行脚

只夕坊 百大
いと通に侍人きくは後すまは蓮花
花しる小箱の茂る廣野を
聖具と称するものやとくは
音をせしむるや 猶子岩

如意 菴 葛洞

く免柳 こころをまへせしにけし
あししちまへる花きくすまの月
所傳 や白川こゆる古馬
その月海一こゆる子もさる

東都 淀橋
鳴子町
升屋吉藏

東都
中井意助

栝 淡居荷少

近きくえる花と廣くくやむのを
むるや 柳へ 結るまを配の白ひ
灰汁桶のまきくくまうかき一葉が
けりてくつりてくまやまのち

齋 藤耕雪女

紅梅や 汐風とけきく花のち
申のまのけりて花葉の白ひく柳
岸も紅きやにけりて花のち
まは味のえとくまをく海氣が

東都 白銀町
一町目河岸
中屋齊藤氏

東都兩國米
澤町
伊勢屋平兵衛

東都御藏前
俗稱 興兵衛

東都橋町四百
山本隆
号九雉堂
詩繪

東都池之端
仲町
号鶯邸舎

米室 一三

赤桃や喰旬を、鮫の味
不器用な様、罷りて、
うづ津之ッ神、
夷講、
計り

萍解舎葛路

いろを、
し、
井の社、
余、
子

友親菴考哉

折ら、
中、
下、
那

姚華菴孝堂

漁、
子、
其、
の、
川、
魚、
を、
糸、
を

カ

東都深川
大給藩
小池八十助

東都小川町
藤田金輔
号俳羽客

東都兩國朱
澤町越前屋

東都御藏前
元旅籠町
高橋市郎左前

清流舎岸草

妻の笑の旭をさす妻の香
多良の立場の茶の起る妻
秋の山我田のひらきさま
ら家元の舞ふと又白くて菜ふ

願月奔暁

十をく伸く日折く妻の花
三日月といふ妻の心
火とくくく又とくく秋の雛く

翠金米

川もくの柳やぬきよんふ
夕涼のちあふもそよ夜を
森のあふやうひ給はる度
のちあふやうひ給はる度

松可園 與翠

赤穂いさく折るる減らさ
一穂さうさうと妻の心
岸のちや喧嘩やあふ川
口之の枝くくくくく

二州岡崎
隨念寺裏
燕ヶ岡

青く霞卓一池
芝を吹うそまき水
のしほしほ奥吹かれり
燕のありれ群こまねのさ
日のさしこり降や櫛
栞をさす時向

大梅居 大梅

松島のももも雨もあつく
垣根うれり
ちのくしと垣根
秋立や初めり色
川

東都敷寄
屋阿菓子屋
東林山因本

黄齋 多希志

桃のたれよきん足さ
雨の海
の嵐

菱 小隣多美古

石出や人
誰と又を池
厚水

東都淺草森
田所
福芝齋同番

東都深川六軒
堀芭蕉菴
安居号北六
軒又空印屋
士

雪中菴對山

層氷〜中か〜
線香の立〜
名月の出〜
漏出〜

小菴菴確嶺

柳ち〜
植〜
〜

守

成年

〜
〜
初草〜
〜

綠蓑園桃磯

人の所〜
車井の音〜
ゆく舟の逆〜

行脚

東都御藏前
森邨次郎助
歸長茶子

遠江榛原郡
大井川東側
通小泉邸号
泉并園
白井賢藏

東都本所北
割下水松倉
町岡山幸藏

出羽最上楢岡
本覺寺住

奥州福嶋
岡代五郎

蕉齋 且松

ふらんふらん正にたけなう雲の心
えはふらん日暮のはく蓮の如
義のふらんしゆとまきぬ紫花の
ちくちくしゆと投かたけの大井川

花月 奔天弘

山藤のたけなうあまの如く柳
信誓のふらんことしゆとまきぬ
七夕や柳のたけなう丘の
降りのふらんたけなうたけなう

藏徳 塔月

たけなうふらんあまの如く柳の
あまのふらんたけなうたけなう
あまのふらんたけなうたけなう
啄木鳥のたけなうたけなう

岡 大費

たけなうたけなうたけなうたけなう
傘をたけなうたけなうたけなう
日のたけなうたけなうたけなう
たけなうたけなうたけなうたけなう

長崎小島

音守 紙雲

河のほとりの内もあそびはあつた
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび

萱 蕙 太 珉

きむしろねさす神のこころは
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび

東都中橋
一具菴寓居
中村半助

東朝 唐具

あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび

下總市川
中屋久藏

桐 二 真 達 支

あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび

土佐高智城下
長澤七郎号
輕原棟久棟龜

東都下谷
廣徳寺前通

東宗舎賦阿

歸る糸の何よりけし花の山
耳澄寸艷のほり子やあはれき
いよしのねやまぬ火の宿ま何と
負い基の老をいさす空の月呂

時習軒湛高

毛宗さしんえきり西峰
しゝの念のこをい入るる
山婦のく入ぬをいりし
き月や帰るる

下野宇都宮
上河原町
庶兒嶋英三

映新高桃車

影くはむをみくをふ
我影をみくをふ
たのしきく越守のいぬ
うし歸かき人をいさす

東都愛宕下
仙臺中野住
高橋紋五郎

春三堂桃古

藪入のまきくをみくをふ
眼道をみくをふ
くはまくら月をみくをふ
我うちれ人のけりやあはれ

東都芝愛宕
下住
西尾五郎左衛門

東都淺草
並木
御喜世留肆

東都加賀町
後藤宗次郎
正乘

東都西國
藥研堀

北總小見川
号并江漁長
山口甫傳

連管堂連の巻

白雲のくさくさしたるきいたんくさくさ
たけりくさくさくさくさくさくさくさくさ
りくさくさくさくさくさくさくさくさくさ
ぬくさくさくさくさくさくさくさくさくさ

雷一子巻可

りくさくさくさくさくさくさくさくさくさ
りくさくさくさくさくさくさくさくさくさ
りくさくさくさくさくさくさくさくさくさ
りくさくさくさくさくさくさくさくさくさ

梅三巻祖文

某のくさくさくさくさくさくさくさくさくさ
梅牛のくさくさくさくさくさくさくさくさ
梅牛のくさくさくさくさくさくさくさくさ
梅牛のくさくさくさくさくさくさくさくさ

後菴孫山

花のくさくさくさくさくさくさくさくさくさ
花のくさくさくさくさくさくさくさくさくさ
花のくさくさくさくさくさくさくさくさくさ
花のくさくさくさくさくさくさくさくさくさ

越中富山藩
江戸下谷池之
端七軒町中邸
山田五齋門

奥州仙臺八
塚田中
遍照寺住

東都補所
黒瀬氏

幡川姫路下
寺町善道寺
活場

静 遠軒素牒

人々をよそよそしく見たりとて
さしつかへなく
けりて
さしつかへなく
さしつかへなく

一如茶尊阿

涅槃の如く
一
法
法山の

兼 棲 曾 見

砂々たる
り
い
足

柳 曾 夢

存
苗
入
志

京都隠士
武田氏
行脚

天衢都岐雄
福妻中法より前より分ちうけり
今年也志しうしむをほしき
乃ち一夜をちうけに后の月見
都よりあつるもまきまき

櫻室貫魚

越中今石動福
町野澤善兵衛
東都本石町一
町目俗名同右

川舟より一里も出りて
甲の免しを強し存り
宿引り引りてあつる
田植が

武州中瀬
河岸
齊藤安兵衛
便所江戸白銀
町一丁目河岸
中屋

材壽窓南
翌日さくがをこぼしと掃除
くこきかなよ黒髪山
くみの月尾のきくの
糸糸色さくさくのひ

月院社何凡

門を掃清をさし
一足おあそめ
秋もあ四日
門とちもあ
田家のを休

東都淺草
田原町

東都江戸橋
向藩
速水七左衛門

如晴菴双
子侍あきくえまをあつり雛の
吸巻のくあをすうあや城を
取くといふあきくえまを
まへくすうと桶

養老菴羅江

東都南八町
堀中之橋

菴
糸けいのい
いとまの
葉に花
て

源泉真樂水

武州比企郡
今宿村
小峯次郎左衛門

光あつり
り
里の子や
笛吹り
骨折神
薬

紅樹朗

研
とち
菴
持籠

東都番町
柳營隱士
名取彌太夫

東都根岸
御行之松

東都赤阪
黒鋤谷
内田氏

信州水内郡
若槻郷西茶
邨
押田治太夫

東都小舟町
二町目
金子甚右衛門

花 粧 二 枝 兼 阿

多のそりて飛ぶるもこころの心の中を
以折目の枝や鶉 飛ぶかきさく
自落や 焚火の中の唐がしし
蹄のきつめのききししつゝのちねごと

曲六 窓 兼 白

たふはさるるも死にたかなし梅の香
かき散や散るるもこれいふつゝらひ
心持を強てりまゝにまきぬらふ折
さしつゝをりてをりてをりてをりて

押田 兼 兼 兼 兼

まはゆやけしつゝえつゝく縄
蜂のさき井のつゝえつゝ木のりか
鳴る羽のつゝえつゝ白くは
足残しつゝえつゝのちや帰ま

程 兼 兼 兼

くえつゝや温あつゝえつゝひしき
夕靄のまきしつゝ起つゝを
若るまきあつゝつゝえつゝのち
えかきつゝをりてをりてをりて

ラ

五十一

東都住吉町
松本号佳蓬
館意朝

林田大夫
羽州秋田藩
吉野西茶
羽州本内帳

夕哉菴菜山
瓦瓶のふくはるをそそぐ
ふね橋志ん新御子の花あか
紅もあかきつはるをそそぐ
天地のこころをそそぐ
帰るまふ

連 雲 舎 無 端

塩魚をたけなまよさく柳の糸
あのかさく屏のつらや菓子も
月いさついろくくえく山海をふ

守 雌 堂 樂 高

みゆりさすあゆみえさく桂の柳
又空やあけの糸くさあ一かく
花濁やふい桔梗の活のこ糸
くねと伸きむさくその梅

岡 部 雨 堂

あふりさくさくさく糸と花の妻
あふりさくさくさくあつり
雲さくさくさくさくあつり
木かきしあ止あつりさくさく

東都柴井町
金井氏
伊勢屋太兵衛

筑前福岡
岡部兵吉
便慶
東都久保町
納屋八右門

西肥大村藩
渡邊大郎大夫

渡邊 有西

志のひさし花とをいとを愛して
言の御のり所中やまよふ
明月やきみきり山に上
提のりきりてつとをのり

南 垣居 有一

人志のひさし花とをいとを愛して
言の御のり所中やまよふ
明月やきみきり山に上
提のりきりてつとをのり

東都淺草
通稱 宇市
以金工為業

山 齋 有隣

志のひさし花とをいとを愛して
言の御のり所中やまよふ
明月やきみきり山に上
提のりきりてつとをのり

常陸土浦藩
在東都上野
臼井新三

粟 高 宇 喬

志のひさし花とをいとを愛して
言の御のり所中やまよふ
明月やきみきり山に上
提のりきりてつとをのり

出羽米澤成
田部乙二門
佐三木宇左門

ウ

五十三

武州多摩郡
五日市
内山勘次郎

亦愛盧兩邦

あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ

立田右斤

あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ

東都目黒橋
瀬戸物町裏
河岸
伊勢屋政八

交加春西行

あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ

下總國津村
山邊政次郎

云山堂雲山

あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ
あつたつとふふふふふふふふふふ

東都浅草御
鹿川岸三好町
辨賣文生
清唱部頭
宮澤氏

東都岩附町

蓮 令舎應
魚に味くくひす無不入ん
ゆひの香粧くくすきき田
とくも妖鳴そすきさかん子と
さしてゆきくかけさるめさ
と別

甲 和 真 乙 人

東都向柳原
對州藩
日高作左門

壬生ちと半道行とわいやちよ
まきあくもやのちつし多も
かき瓜垣根とつハ
まきあくもやのちつし多も

木 木 園 木 木

東都南新川
銀町一町目

三つとろしはく子すり
井石切やろろ多
山柿と和落神柳
晴天く向のまきさく

和 交

東都坊亮町
結城平藏

くくひとやセツか
一たん
大底の

東都梶橋
五郎兵衛町
中野五郎兵衛
号輝山亭

武州深谷在
寄居
田所平藏

東都神田橋外
大橋氏

下總産
東都旅宿

花亦居空是

こつまや空の上へ
石高へ月の子
そ何の言も
野宿や夜を焚く

投轄亭 愚笔

棟をのろく
花の肉々
一層根を越さ

聖朝庵 完里

六月や
峰を越す
羊さしの表

空亦扇玩甫

舌の事
色を
名月の正
一日の光

ク

五十二

東都神田川

霞 室花晨女
よふく人を連れしきりてふりて
よにぬきしりつるまきりて月つ輝
赤穂の穂をきりてきりし山芒
きりけりやけりてきりてきりて

稜 園 戸 谷

東都中橋正木
町吉川安兵衛

多きまきりてそのほをぬきの日きりけ
投入や毛をきりてきりし葉一投
岩角の鉄炮をきりてきりてきりて

板倉 名 脱 牛

上總山邊郡大
綱村
板倉俊次郎

孫とるんきりてきりてきりて柳の
けりちの孫をきりてきりてきりて
おのちを掃りしりて天をきりて
櫓の火をきりてきりて焼けり唐がし

小 島 卦 龍

京洛東智恩院
新門前中之町
小島文輔

雲をきりてきりて櫓活の自らきり
り川に魚をきりてきりて坊をきり
けりてきりてきりてきりて
帰花をきりてきりてきりて

ク

二六

秋田別藩
東都濱町矢之
倉下邸町田氏

東都沼津藩
二崎源吾
号飛銭事佛
又僭稱四消老

駿沼津藩
東都櫻田住
成田氏号
南歸亭壽考

東都淺草新
馬越

傲 古齋 花堂
數尾の堀しけにすりしはるる
木の蔭にすむはりす 照射を
却しすをまきかききききき
庵の雪障りさすりも又を

壺 中 葦 夜 雨 書

柳もはな分のほくやうききき
詩もや水端をなぐりしはるる
人々居れとくも又申るがし柳

尺 齋 半 起

繩法をわらううききき
柳 柳
柳の木をすけりし並り蒲ふり

割 烹 家 八 百 善

摺透し袖をわらううききき
二人を考やうに川邊のまききき
きききききききききききき

駿沼津藩
清水氏

水藩
小林次郎太郎
号西卷住常
陸太田

出羽最上楯岡村
原田吉右衛門

東都葭町
万久壯兵衛
号松急

嶽 康 谷 時 雨

梅くや河をくくえ字の磯かきす
を京中後区一ヶヶり 小ま川山
を綿やの糸終のや ちくはる
の木石のしきるきくしを白けり

且 暮 茶 野 棠

名河れをくくちんきくつむ田芥を
家越茶もくくく 宿を鹿の亭
万駄の河を地免くしまるきくの若
川はくや地をくく茶の樽にの茶

龍 城 也 維

くくくくくく再をくくくく茶を
祖父と孫茶のゆきをくくく月を
狩の末ん先茶をくくくくく
くくくくくくくくくくくく

松 榮 舎 万 久

み新伸る多けい水河島小川
ホの子や垣根の糸を人のもれ
之歸くくみる所茶子やくくの目
眼のゆきを多けいみちのきくく

肥前松浦産
江戸牛込に在
甲斐谷村
服部泰作号
山水居

遠州横須賀
東都外櫻田住
赤岩九右門

相州戸塚宿
釜屋彦兵衛
号菟道園

東都淺草産
北總香取郡神
崎之庄押砂村

菅舎松海

大風やや川と河津の流るる
松村の山月とやは河津の
鯛錦の時をさる茶多る小橋多
折角と茶をよけく小舟のつる

枸杞園万年人

雨色とるる
月夜の
川や吹おろし
さるる

洋在菴真澄

豆袋とるる
詩の
岸に
舟の

風高幻芝

時とるる
水鏡
秋の

(59)

東都横山町
関月菴門人
通補 院輔
号味一閑人

東都新橋三
十間堀八丁目
鈴木芳兵衛

武州越ヶ谷大
澤町
斥屋伊左門
号松葉遠来館

東都本郷森
川 泉氏号
即伸

峯月高院輔

酒の賣り字難もくもまもりの
余もなまなく水足さうなうり四月廿
さうりつて志不也やうそ秋のう
院の院の院不る紙衣を

松榮会 敬十

通る人の歌もを西くや棟の垣
妻うけの虫さかじらやけくま
やの以不なぬくくく秋の系
江戸かみちくくくくくく

秋の系 月實

くくくくくくくくくくく
ゆの子も竹もなまなく水不く
初もくかまきくくくくく
免くくくくくくくくくく

月豊 月豊

くくくくくくくくくくく
浅まつるくくくくくく
火焼くくくくくくく

駿河洋城下
鈴木氏
号圭齋

淡海信樂多羅
尾 笑九堂一
名軫又号齋室

東都西園藥
研堀
小野氏

遠州模砂藩
在東都外櫻田
加藤藤太郎

皆清新景文

字之はすのふそく 注んく 景も
神筆 しく小をゆみえて 景も
そおのたひさこを 情も ぬく
水俣やきあう 功者てわいハる

辻氏 楓

海苔のやれ多ち 歌す こと 又は
雪まて けり づの 標の 子 本 多
漆 帳 や 揮 筆 きい ぶ ぶ ぬ の 秋
や 催 たり 入 たり ぬ 然 あり け ぬ 也

軌 不 走

山 中 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
衣 瓶 う 枯 葉 不 掃 一 う せ け ち ち ち
秋 の 衣 や 物 琴 入 ち ち ち ち ち ち
山 菜 花 中 田 舎 丈 工 の ぬ ぬ ぬ ぬ

紫 園 交 磨

窟 子 居 ち 存 ち ぬ ち ぬ ち ぬ
ひ ち 助 ち 持 ち ち ち ち ち ち ち
ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち

武州高麗郡
高菽修驗

東郡中橋北
榎町油壺
福田屋清吉

相州戸塚宿
釜屋善太郎
号成章堂

東都小舟町
二町目
丸源兵衛

福壽院波水

さきさき水すそくさくし海にけり
夕もちの酒さきさきし世の美
とらさきとさきさきさき火の柳
水俣を賣人うり柳さきしはんけり

得壁湖文外

いささかさきさきさきさきさき
一しさきさきさきさきさき
秋の夜やけりさきさき我さき
此ころいささかさきさきさき

可方真富哉

早さきの人さきさきさきさき
さきさきさきさきさきさき
約束のさきさきさきさき
市人のさきさきさきさき

柳葉舟丸

さきさきさきさきさきさき
さきさきさきさきさきさき
さきさきさきさきさきさき
さきさきさきさきさきさき

7

東都本八町堀
井上藤藏

春文居文昇

いゝゆも師とつゝあつたや妻の心
川提より傘はしゝき牡丹
破れ傘も一奥のち書目の白
よ提よりまをかり納豆もあま

鴈来舎 布席

残月や赤月のうらを際なく
かよ子の月もあつたや波のき
御書くゝる人の形の 徒ら柳
とくは我があつたや湯のき

奥州箱館
吉田清兵衛
錦株窓

下總成田
華屋五郎兵衛

竹翁 波水

橋内くち衣のうらも 虚をきき
染不のちのちをききかき
赤のちのちをききかき
あつたや羽のちをききかき

子甲 菴 富 石

消る雪のちをききかき
鈴のちのちをききかき
編のちのちをききかき
かまぬちのちをききかき

下總八幡庄市
川住石田忠左門
昌妙号銀籠軒

俳諧人名録初編

下

東都久保町
但馬長屋

暉雪庵点鶴

おくをくもりて
寒うらまきく池
霧のさきく中
塩平さきりのまき

小村 吳明

京都富之小
路御池下
行脚

寅とくく
解く自のまき
午内哲時
しん降

菱木 権成

下総香取郡府
馬村住
菱木弥兵衛

踏あつて
ゆを退け
ぬくい日の
根つき

直西 新 孤米

常陸湖来
和泉屋

恙抑
松うそ
名月のま
日以越

東都神田銀
治町二町目
不動新道

武州川越領
澁井村
薩摩屋差門
隱居

奥州白川郡
白川
川瀬傳三郎

下總佐原本宿
土俣町

柳隣菴園繪

遠くへ行くついでに花を
菴のけしきおのむおふ
ししら萩の白なる中
かゝ難ととむたふ
かゝ難ととむたふ

拾 湖山

ふ所りやうとて
沃山やうとて
有明やうとて
ふ所りやうとて

江田

ふ所りやうとて
田原やうとて
起るやうとて
ふ所りやうとて

五徳屋

佳ちるやうとて
ふ所りやうとて
るの昔やうとて
後取のやうとて

下總市川
升屋彦四郎
号五醉堂

良齋
小井
あはれき月さし雨ふくのそとに
葉のそとにさきよき花のそとに
若草切とさし侍子やおしの花

具道新 吳石

客死のそとにさきよき花のそとに
秋の月さし雨ふくのそとに
さし侍子やおしの花

武州草加宿
竹内
大阪屋庄藏

皎月舎 江誓

客死のそとにさきよき花のそとに
秋の月さし雨ふくのそとに
さし侍子やおしの花

東都浅草
官庫

蓮園亭 古翠

客死のそとにさきよき花のそとに
秋の月さし雨ふくのそとに
さし侍子やおしの花

羽川采澤西
大塚村
高橋九兵衛

羽州秋田藩
東都三絃堀
吉田氏

東都小川町大
銀杏之邊
丹國藩湯淺氏
号清風堂俳依
閑人

陸奥盛岡大樋
四日市菊池氏
号五天堂
古里屋平助

東都龜井町
松塚氏

靜月庵吉柳

はるけきき切らるるあつらひ者
らるるにちきりちきりけりし
池水よりあつらひるあつらひ
あつらひるあつらひるあつらひ

其月茶 顧曉

あつらひるあつらひるあつらひ
あつらひるあつらひるあつらひ
あつらひるあつらひるあつらひ
あつらひるあつらひるあつらひ

標 庄 五 大

あつらひるあつらひるあつらひ
あつらひるあつらひるあつらひ
あつらひるあつらひるあつらひ
あつらひるあつらひるあつらひ

可 口 園 英 文

あつらひるあつらひるあつらひ
あつらひるあつらひるあつらひ
あつらひるあつらひるあつらひ
あつらひるあつらひるあつらひ

東都小日向江
川中之橋
青木氏

古多津 登江丸
辛皮のふりしるもく日
鳴るるのふりしるもく日
舞臺のふりしるもく日
神の折と魂の折 降おの二系

北斗 志居 英山

七夜をひらき
大汐や花をま
鬼の折をひらき
命 降おのふりしるもく日

東都浅草
龍澤山三郎

東都市々
村尾州御屋敷
萩原五郎三郎

秋 原 新 婦
袴をまき
袴の臺
さゆし
さゆし

事 仙 子 丁 知

あまのついで
あまのついで
あまのついで
あまのついで
あまのついで
あまのついで
あまのついで
あまのついで
あまのついで
あまのついで

東都神田川
跡松玄齋
鯉通堂

東都御藏前
森卯氏桃磯妻

東都少傳馬町
二町目宗師之
人 三品唯一郎

東都鍋町
田中為吉

東都數寄屋
橋御門外
鶴屋善吉

楓 迥 夜 禎 女

汗の蓀をくくかきおと汗をくわ
水邊にさびしこけや鶴の徑
むしとくまふりまきそをそふ
枯きわりのむしやきるる柳

為 朔 菴 田 蘇

音はとや肩のうらう角力の子
堀川の流るゝむ多る志けは柳
むしとくまふり田畑裏の中の子
後個の葉をむしとくまふり

苗 代 亭 田 為

くまのまのこをくまのまのま
窓の月の表にみ起すの影を柳
刈縮や時をさけるこまをまし
汐のまのまのまのまのま

淡 雲 真 島 義

淡をこけさちこちとくまのま
かまをくまのまのまのまのま
千秋のまのまのまのまのま
まのまのまのまのまのま

テ

越後新瀨
鷹金屋清兵衛

権 筆 鼎 湖

福来中 蕭条のくさくさ 吟子 小
うはるる 挿ぐれ 女の 後 家
らるる にならるる 相の 紫
燈心の とも 出るる けり 出

蘆 丸 舎 二世 真 山 子

峰の 夜思 風 減 さらき
後 扱 と 車 了 日 傘 子
痴 痴 了 了 了 了 了 了 了
ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち

東都本芝
別稱 流霞館
俳諧佛 卧佛
河彌陀丸
書 画

北越絲魚川藩
住千東都青山
穂田之別邸
河合東馬

東都御藏前
守邸氏
號抱重又無聲

筆 堂 天 愚

宿りの 目下 以 了 了 了 了
暗 牛 又 又 又 又 又 又 又
筆 将 了 了 了 了 了 了 了
是 氣 也 了 了 了 了 了 了 了

テ

三十八

京富之小路
御池下ル

常陸江戸崎産
小林平七郎國學
六樹園雅望門人等
緑樹園 獨立俳諧

俳 儂 堂 歌 陽

採の先へ踏みゆくやねみち
おまのちまよやうあふしきりぬ
おまのちまよやうあふしきりぬ
おまのちまよやうあふしきりぬ
おまのちまよやうあふしきりぬ

立言亭 櫻 所

新しきさくらさくらとちりけり
良かしてうのえきりる
けりるさくらさくらとちりけり
世のさくらさくらとちりけり

東都小石川牛
天神下 楳島氏
甲子菴 瓢箪齋

京東山
双林寺中

ゆきかきを押し出す
笛百合やけりる
燈籠や四つ折
岩さくらさくらとちりけり

南無 奔 蒼 乳

おまのちまよやうあふしきりぬ
横断のわの笑多し
ちりるさくらさくらとちりけり

播州須磨

安藝廣嶋人

村田只一号屈伸

舎又松花樓

東都霞ヶ關邸

隅羊勤番

廣嶋竹屋町舊野橋

禎 屋 西 月

舟をひきかきたる春をうきを羽田を
杜橋ふきかきたる繁のうきをしらや梅
之日月や月し暗簾の魚を所
しきくもや歎つくる戸の遠河

屈伸舎 三萬

梅傍も根鞭もけしは
直をまきくも
あはるるも
おはるるも

井 沙 島

尾張名古屋
堀詰町
井桁屋治右衛門

之素もくもぬえりもや
あはるるも
明月の葉も
あはるるも

東 井 菴 樺 柯

東都 泉橋
直道第三街

る道や
あはるるも
あはるるも
あはるるも

麴屋杉露

一世一花のけさおいなるはるかに
晴天かあるくしなす巾のほ
陽のけさの草花のけさのけさ
そすのや残る山の子のけさ

淡河堂牡丹

牡丹のけさのけさのけさのけさ
牡丹のけさのけさのけさのけさ
牡丹のけさのけさのけさのけさ
牡丹のけさのけさのけさのけさ

雪水軒茶静

雪水のけさのけさのけさのけさ
雪水のけさのけさのけさのけさ
雪水のけさのけさのけさのけさ
雪水のけさのけさのけさのけさ

隱泉亭山松

山松のけさのけさのけさのけさ
山松のけさのけさのけさのけさ
山松のけさのけさのけさのけさ
山松のけさのけさのけさのけさ

東都深川
平野町

江戸柳橋平野町
伊勢屋兵吉
号江民明松子

東都西久保
井上清七
号竹樹軒覺睡

東都深川内

東都馬喰町
杵屋藤三郎

武州入間郡北
之所谷
擊劔道場
吉野氏

東都横山町二
町目川村氏
日野屋三左門
号正風堂又俳
阿弥

東都塩町
森住氏
上總屋

五ノ不度三朗

美草やとまうも三し其の四片
神の流のくまのそつるる片
日初りのさめを提や其の花
美の流其おんまうも呼まう

一然高三九

正月也遊すみそも傳の如な
さしきくもあかきくもわらわら
くまきくもあかきくもわらわら
あいのさしきくもあかきくもわらわら

閑月奔山曉

く免くもや二女をばくも朝
形、雲くも尿同喜くもわらわら
明月やとあかきくもわらわら
さしきくもあかきくもわらわら

又玄舎草延

今やとあかきくもわらわら
るやあかきくもわらわら
浪よとあかきくもわらわら
以多んあかきくもわらわら

東都神田
今川橋
木村定次郎

江戸新場
金澤屋吉兵衛
東春軒

武州高麗郡
高倉村酒造出
店木田氏
日野屋藤兵衛

東都油町
佐藤吉兵衛

貞幹齋西峩

起るもくまの薫りきふ柳の
夢をよめぬ眼のちのさなきしと
啼ハ川の向うそ河をよめぬ夕
りの心をも齒をきくうらをよめぬ

北堂 涿柿

高よりおれしきしきしき
涿柿のさうつらぬきききき
藤井中木まききききききき
枯れしきききききききききき

白泉亭酒人

とみまきききき川にききききき
云川のくみまききききききき
よふふのふあけきききききき
まきききききききききききき

鮮 彩亭 巢山

くまききききききききききき
山極のちちしききききききき
水門のふききききききききき
世心ききききききききききき

ナ

ナ

武州新里住
戸谷氏
届所上州藤丘
和泉屋新太郎

上州吾妻郡
伊勢町
根岸権六

下總水海道
豊嶋屋治兵衛

下總香取郡
志高村
高木佐右衛門

濤石貞雄

くちくちのつら〜〜〜
井の端〜〜〜
折角とみけ〜〜
起卧の何〜〜

謀花争 尤谷

〜〜〜
核〜〜
〜〜
〜〜

豊齋 山馬

初午や道をた〜
手成り〜
蛇〜
水俣〜

我國道 雲兔

不川戸海〜
蟬啼〜
菊〜
本〜

廿

八

東都改代町
飯嶋氏

桃 菴 草 芝

舟底やとろれり〜のひらけけ
河の先へ山阿の断也 雲と〜ま
〜ら秋や多〜し〜し 湖の春
一月の笛を〜吹く〜の〜

音 唇 舍 桑 葩

いさねむ花〜河の〜志を〜
〜き〜は〜あ〜は〜
津の〜ら〜の〜
唐の〜を〜

信州佐久郡伴
野左大澤村
市川和作
号槐園

湛 河 舍 草 舟

掛 翹〜庵下〜和 笛を〜
盃の出〜な〜やむ 扇の〜
松の葉の黄あ〜ら阿の〜
月〜ら〜を〜

林 秀 庭 山 風

〜免〜里〜して紗和四〜半
為と〜して〜ら〜
部 仔か〜房〜直ん 踊〜
〜の〜まよ〜

駿陽沼津藩
佐々木正五郎
号大圓菴

東都神田絆
屋町二丁目
岸村乙五郎

出羽米澤出村
吳服店 四日
竹田清五郎

平鑑香取長岡
村前田孫左衛門
親州

東都淺草
竹門住
釋春泰

武州二合半領
長戸呂村伊助

竹 隱 左 琴

きり子の鼻紙入ー陸月之那
櫻ノくしー邦酒湯くー菅蒲ハ
頬かろーあふーんえさる切ハ
ろろーあふささーんあふ種世目

月 前 田 茶 六

葉のあやみかひくをを 燕の氣
岸ノー冷つるる降ハ
正面ノー終出ー秋の夕
格ノーいーるるるるるるるる

日 堂 山 鳥

ゆりさきー掃ーるるるるるる
さぬーるるるるるるるるるる
下川遠ノー後ノーあふりー柳
杉村ヤーえれて月あふー出

長 戸 山 史

障ノーるるるるるるるるるる
濫ノーるるるるるるるるるる
あふりーあふりーあふりーあふりー
ろろーあふりーあふりーあふりー

ナ

八十六

東都元矢之
倉住
号舜泉葺又
鍊齋

下總源田郷
小阪縫殿之个

東都小傳馬町
二町目
宮邊氏

本居東都湯
嶋切通所安居
葛飾寺島村
小森杉二

龍尾園 在古

くわいしちやまはくくくくし馬賊のす
水子くくくくくくくくくくくくくく
あかやがまのくくくくくくくくくく
あかやがまのくくくくくくくくくく

三益庵 巢堂

くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく

湖心亭 左岳

くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく

水溢居 杉二

くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく

廿

八十七

東都牛込
光照寺現住

卓阿酒入
平押不委て何れとせあふ奈
咬の舌あつ切る指縄の如
縮妻や水くくつ道ハ数白し
かゝらぬ此の味くさるる小をくくちあ

湖内堂三巴

ささくちの中や万都のささ
舟の酔さほく不ゆきあ紫くけ
二とあんまきくさつて戸さけけ
杯側へ霞さかしてそくのさ大

東都神田明神
前帳面師利八

清風亭其第帖

まきのをきりくらきり
我氣のりららるるあつ
啄木をみりらるる鳥をみる夕日本
さくきり山葵お酒はちをら何し

東都神田佐
柄木町

南瑤衣栗

鴉さくや籠肩まきりその白ひ
すししきやけのたき橋のそく
さくさくさくさくさくさくさく
まうれやききききききききき

江戸新場
魚問屋
三崎屋甚兵衛

東都芝田町
六町目豊嶋氏
号坎窩

園 誓 久 藏
うすふしりれりかきよ細り
ひらりめりかきよ細り
やあ細りかきよ細り
うすふしりれりかきよ細り

東都油町
澤田喜兵衛
号水心社

松 立 井 其 年
うすふしりれりかきよ細り
ひらりめりかきよ細り
やあ細りかきよ細り
うすふしりれりかきよ細り

東都小傳馬
上町代地
龜屋
語竹菴

山 夜 や 様 死 木 免 える 水 の 音
うすふしりれりかきよ細り
ひらりめりかきよ細り
やあ細りかきよ細り
うすふしりれりかきよ細り

近江湖東辻村住
田中喜兵衛
下総市川出店
又云釜屋

湖 東 近 水
うすふしりれりかきよ細り
ひらりめりかきよ細り
やあ細りかきよ細り
うすふしりれりかきよ細り

秋田別藩東部
濱町矢之倉下
即 佐藤氏
号 孤腋齋

三餘堂魚明

くそつりてはたしめし梅をまきちり
憚りや小ぢりのもりうゑりて
森はふおちて誠をまよれけり
雜魚川も小細のまよるこまらち

東都本町二

町目
小林圓藏

芳 堂 起 之 号
風之舟の末くまてきりて
ゆきりてしるまてしるまて
入る月一日より河のしるま
移りてまてしるまてきりて

落涼園虚白

引きまてしるまてきりて
ゆきりてしるまてしるまて
入る月一日より河のしるま
移りてまてしるまてきりて

江州土山
常明寺
羅樹園煨半
隱居所

桃林舎牛毛

活然の氣をまてしるまて
一夜酒まてしるまて
酔花月かりてしるまて

東都小網町
高崎屋長平

キ

東都神田堅大
二町別号吳晋
齋又規組窓準
繩菴石川彌三郎

石川 歸風

まき女水をせきしきささやちやうは
社まをぬまじしりやうなまな
ハ新や屏をすけを鯨汁
よまろくくぬくまろい寸大桶の姉

青 菰 庵 器 長

ひらくしりやまこをその家
日くくや風呂の加減まの時分
酒をれた人もあつてさきくの花
あつてまきまをよひくくくつてつて

東都神田
岡崎氏

女 羅 架 梨 風

正月やふくろをさるるまは 佳
まろくろを津美に帰る旅の川
まろくろく関をぬきつるまの
まろくろくまをさるるまの

池 工 菊 所

まろ草やいもらるるまをさるる
まろまろくろくまのまろくろく
まろくろくまのまろくろく
三日月や屏のくちまも 彫りくろく

東都本所堅川
之末中川
篠田氏小兵衛

伊勢山田甲町
池上衛守

キ

九十一

林 祇 白

大阪北濱一町目
半鐘下
河内屋東作

以のりけりしるえきまのありのあり
志のり 免のりまのり 秋のり せのり
溜のり やのり しのり 水のり
炭のり きのり しのり 起のり

應 病 御 風

出羽秋田保戸野
川端
秋山宇吉

眼のり ぼのり せのり のり ちのり 過のり
角力のり のり のり のり のり
握のり 柔のり やのり のり のり のり
母のり のり のり のり のり のり

蛙 都 舎 簪 水

上毛倉々野宿
大黒屋清右門

餅のり 飯のり 飯のり 飯のり
夕のり のり のり のり のり
性歌のり 飯のり のり のり のり
のり のり のり のり のり のり

鳥 静 高 具 英

武州草加宿
舟橋氏
笹屋長左門

鳥のり 静のり 高のり 具のり 英のり
まのり 月 のり のり のり のり
のり のり のり のり のり のり
出のり のり 加のり のり のり のり

キ

武州草加宿
野嶋彦左門

二柳 高 其 次

ささの柳やのつくれさりの人のまゝ
まの戸やのささの柳のまゝささの
之日月のささの柳のまゝささの
ささの柳のまゝささの柳のまゝ

原田 吟 意

ささの柳多ひささの柳のまゝささの
ささの柳多ひささの柳のまゝささの
ささの柳多ひささの柳のまゝささの
ささの柳多ひささの柳のまゝささの

出羽最上楯岡
原田吉五郎

泉 天 齋 其 雄

ささの柳多ひささの柳のまゝささの
ささの柳多ひささの柳のまゝささの
ささの柳多ひささの柳のまゝささの
ささの柳多ひささの柳のまゝささの

秋田別藩
東都濱町矢之
倉下即佐藤氏

福 如 真 菊 臺

ささの柳多ひささの柳のまゝささの
ささの柳多ひささの柳のまゝささの
ささの柳多ひささの柳のまゝささの
ささの柳多ひささの柳のまゝささの

東都瀧山町
上總屋徳次郎

キ

下総杵取郡
志高村十三石
高梨長左衛門

紀州尾鷲産
江戸南茅場
鈴木久兵衛

東都駒込追
分町
高崎屋長左衛門

東都芝山下
屋敷麻布一
本松住
千分三衆婦

古茨真新つ
大素軒 旧晁
山にありて隠寺やうき紅紫
さのらる中へさるや那 兼層

つとまやき履をまくく舟のち
燈籠み並人てあふまふまき
毒死を志しし毒の跡み
桃井会 牛席

鷗出ししよまあ方り刺 刺のち
築山也くまきり入まきすはせ
常之流は流るる 菜月十五
を第しうきく 除却のとらま

岡崎 綿子

人新し味く考さくさくさく
おきくともあくさく代や高層大カ
延びのふもも 炸まや くら月お
足ありの男の子多刺定すけ

キ

九世

六十三

長崎油屋町
久松氏隱居

羽州秋田藩
武陽浅草馬
越郎住田中氏

東都
本所堅川未
中川
丸山傳兵衛

北越與板藩
東都住
佐藤波之丞
正風遠州流業活
華席岩齋一壽

九月堂菊也

わくしあゆむつられとあふさうとあけり
京をくさるるを田植のうさひあま
うさうさうさうさうさうさうさうさう
うさうさうさうさうさうさうさうさう

腫齋季清

あまのやひをさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさう
あまのさうさうさうさうさうさう
うさうさうさうさうさうさうさう

竹裏菴除巖

菴さうもたりのあまをさうさうさう
うさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさう
うさうさうさうさうさうさうさう

阿麟樓画交

あまのさうさうさうさうさうさう
うさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさう
うさうさうさうさうさうさうさう

キ

東都神田鍋町
高柳藤五郎

高砂亭神蓀

松山のさきくちやくとてをいふ
五ノ川に布ひらふ神蓀 交るる月
半間の河も河もついで 月の若
多ふくくく山も市日の時をさ

桑海葦如鵬

苗代や孤遊の火をいづくところ
後さきくく日うらなをいづくところ
ねかすくくくくくくくくくくくく
宿はさきくくくくくくくくくくく

東都元濱町
江原氏

寛 著 俳

乃心くくくくくくくくくくくく
よのち中や屍あけりくくくくく
家のみくくくくくくくくくくく
接接くくくくくくくくくくくく

樵 家 四 明

活きかきく味くくくくくくくく
五月のちくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくく
何白くくくく茶所くくくくく

東都産
行脚

江州八幡出店
下總水海道
釜屋嘉兵衛
号柳風軒

尾張五百羅漢
前竹村氏

鶴 菜 風 也

江ノ一ふくく枝子ししめのみ
真をひるもええき日暮るる葉ハ
夕鳥也人然出入一 跡 子 子
ささもめししきく和ぬのたあのみ中

蓬 惠 史 牛

ゆれまの花不ふゆんてまふふ
五六日供不ありせき 後つ折
洞一葉 花ちつらに 跡まふ
る 木しよ木石のたけつとあつさ

千 来 菴 思 齋

えつ和おおぬくくきくまふ也
まおおお樹も色ぬくし 時き
月のよま宿帳くく月の名所ハ
花活きくくくくくくく大三十日

蓬 霞 井 峻 路

畑おおお良くくく 寺おお門
まつとくとおまをたれくくまの月
ころおくくくくく 雲くくく 命 必
山まふくくくくく 子まふくくく くれ

東都芝切通金
地院境内号
梅壺中又蘆菴

東都浅草
雷神門前
山彦

東都木挽町
八橋竹五郎

三

給

東都四日市
松屋善八

尾張京町筋
益屋町
錢屋喜兵衛

下總多吉
玉屋利助

今時在江戸翠
喬上仙雀書堂
中

松盛堂の松杜

さきさきみそりつりのちまきうめ梅のふ
盗人みそりつりあは
多の秋のそらうら
本歌を一冊みちや

伊藤藤雨居

二二のちまきを
飯の多なわの子
堀のち根こ
くさや料理

橋亭之桂

空をうら
見残りのそら
新良のみと
貴人流くのち

赤井新寿月

初もや江戸のちまき
入にちまき
明月やちまき
しそりのちまき

ニ

奥州石之巻
醫業松本玄悦

東都靈巖駕
濱町
木屋茂助

東都神田
松枝町
七子師
山川安五郎

羽川最上漆山
村半澤久次郎

松 本 二 晶

形そのつしとく梅くこくも中坪の也
提きうよふまをくをんる西く様くを
字いしと町くも道 流けりみある
是くもくも流くくのきく 紙云き

寶 村 園 真 驥

折侍みり終りて西く梅えき
人先く起てえきやや市一のふ
二三艘なるんて船の燈り
本かきしやかきるるを返りては

赤く 登秀之

くふ花や松はけこのけきり
水きうくも紫くまゆる 目てり
いひけりやを末くこれの爲紅紫
柳り末の末末末末末

半 澤 二 丘

口上もその族折も御代みま
ゆき 折を糸くみんくけり後
かきしと扇てえきやきくのみ
踊場の大きく昔は十折

丹後田邊藩
東武在番
森本太兵衛

森本似藻

雪のふりしるし一羽
水々れりし柳のうき
さきかへて清のま
ありのやうにんき

酒音会松石

雪のふりしるし一羽
水々れりし柳のうき
さきかへて清のま
ありのやうにんき

東都柳原
岩井町
石屋市五郎

翠竹亭如柳

雪のふりしるし一羽
水々れりし柳のうき
さきかへて清のま
ありのやうにんき

東都新橋
南鍋町
笠屋清次

瑤草菴甲友

雪のふりしるし一羽
水々れりし柳のうき
さきかへて清のま
ありのやうにんき

駿陽沼津藩
田邊直之丞
號草廬又把
菊嗣四友旧名

雀醉翁芝生

下総千葉郡
秋葉村
黒川半藏

以て中平可く伸ぬ、洞の窟
以て了ぬ、其年より下へ部
鶴の敷を河を中 河字の、河也
夕ひ能く中平に能く二二二

朽之舟壽堂

東都西國郡
橋同朋町
号霜臺

翌の...
朽之舟...
名月中...
舟の...
舟の...

蒼龍窟松柯

畫
東都淺草
寺藏御園内
井上一助号
小霞椿園又
花魁

梅...
古多...
猿...
之...
之...

茶... 斗藏

武州入間郡
越生郷西戸
村織田外藏

人...
信...
并...
仙...
仙...

信州雪水

岡田 晨 支

春子な花雪りも冬そとふ日あり
病に足まゝしてやうすまひく
華一息一けりや 降りの子
まよとてしきりけら出たる 巨塔が

柳 西屋 伸 女

折も月もたのみにきぬや 夏の
戸を三つとてうもきし 夏の
人定しよまをくくくぬの 秋
夜の紙をまきぬとてくすし

東都御藏前
守邸氏
抱儀妻

花月菴書遊

申く先しし先みあはる 二月
湖越一しるききあや 交はる
ししあやあはるま 山花月
まはるしりや色しし かなるす

東都本町二
町目商家
沖山長兵衛

梅月画如春

梅月画如春
梅の香のるを流けを 暑く子
梅侍やく先くあきり 崎あきり
うつさの初さくら 晴るる

同右
山田専助

勢州中萬

禮藏舎子恭

ちりしりちりちりちりちりちりちりちり
けりちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちり

三界摩茹末

とくとくちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちり

奥州津輕郡
黒石
松井嘉十郎

菊葉昌健

ちりちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちり

東都
紀伊国屋
中野氏

北龍舎如流

ちりちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちり

東都馬喰町
辻新七

東都豊嶋町
一町目
池田宗三郎

武州二台半
領長戸呂村
岡庭連吉

東都神田多
町一丁目
松阪屋彌助

東都愛宕下
仙臺中邸住
柴田彦五郎

西中茶壽遷

くわくんきん銀河けるあふく柳
下駄しけさるりけりや取巻さき
新兵やいささきれいま門のま
おしきやうまやみし森路月

岡庭 壽風

うらめしめもよ何とさくもさく
洋の中きりやあやうきし不
魂初くむしりやあやうき
ひさししししししししししし

平木のか松葉

柄柄いやうきし迎しあみけり
ちりきりししししししししし
拾りきりししししししししし
さきさきししししししししし

古風 養 雲 糸

くわの氣さくさくさくさくさく
すしきく島さくさくさくさく
名月や巴うけりさくさくさく
さくさくさくさくさくさくさく

春風斬女柳

日やまのちかき鳥追
寝るまゝ清水あふく
柳のまゝをきれぬ
入江の形
石に何となく
流るるの音も
氣鳴

言有亭集江

伊勢龜山藩
東都住
雨宮氏
城下川に堰場も
たえそ花を
石投く川の浅き
まは月
中夜に
かき
きく

月塘氷狐

あつらふ
月や
降
田

文虹園氷谷

猫の妻
さか
山

東都深川
北川町

伊勢龜山藩
東都住
雨宮氏

東都本町一
町目
高野傳吉
号半月舎

東都富庫勤
士姓安藤
号不運又笑鵬
文年

下總香取郡

津之宮

久保木彦五郎

久保木比古
折之河に河を也柳をまきこころ
所河をひて藤川のそ森柳
馬河川之ヨリわらふ山ふり
創まきし葉火のともくまこの如

訂 麥 花 菴 氷 健

武州日光道中
大津柏屋
大垣氏

大垣也こころのう群すく免を苑
みし之ぬは松瓜の必たぬふり
ふのともくまのえけしるをふり
峰のねりもまきこころ

崖 西 ぶ 雜 藤

東都深川
北川町
飯嶋氏

二ころのさぬ梅はぬ人へ通利
葉をぬれししつくとぬる葉は
ぬらやかさをそとくまのきりし
葉つぎんやつくまのぬり日さし

菊 壺 茂 推

讀岐元龜
藤壺氏

をりし之言は角膝や柳は葉
柳のやとくまのぬりすふり
まやけのぬり日さぬふり
内西派の月候まきや櫓のふり

東都深川
穠江重願寺前
松本伊助

今日茶元風

むらりーるう濁しきまひぬ観所
酒河りとるいとあきう 散まきう梓
多り秋の萩とまれりあはひま
淀めれ小紙 宿の穴をさくまきり

竹村 木貫

あきうう月夜なきしーのあまき
ゆれ色下はくや宿のあまき
あまきううききううあまきうう
あまきううあまきううあまきうう

東都本所
長崎町
嶋屋

芭蕉堂 千崖

あまきうあまきうあまきうあまきう
あまきうあまきうあまきうあまきう
あまきうあまきうあまきうあまきう
あまきうあまきうあまきうあまきう

京師東山
雙林寺中

栗初菴 小圃

あまきうあまきうあまきうあまきう
あまきうあまきうあまきうあまきう
あまきうあまきうあまきうあまきう
あまきうあまきうあまきうあまきう

江戸中橋
根ヶ原市郎齋

東都中橋北
模所御油座
相摸屋久次郎

東都牛込原
西二町目
水野下郎
号推亭

東都深川北
川町飯嶋氏
号九華亭又
老梅井

能登熊木中
嶋宿
室屋助右門

沙壁千輪

瓶子きりきり言ひ美しんやまきり
将量兵とて道に赤い葉の
人言とていふ言とて燈籠の
ちりきりきりきり一日は月夜の

正風林扇和子

ふらふらと風をよみかきし初
ふらふらと風をよみかきし
ふらふらと風をよみかきし
ふらふらと風をよみかきし

北川辰仙庵

春、柳川川まゝの二日月
京骨の寺ありなる扇の
引止しをえしころ花吹雪
春葉捨子難とて

石 雲 恵

梅折しきり枝をきり
後、石の人を渡りし
世に力を入る角力
石、佛のつりの

七

百十三

百十四

嘯 友 青 岐

下総香取郡
小見川
阿波屋女兵衛

水たやし花あそろのまよふ月夜
雨ふるあそかきくはれし思寸
夜ふ入まよふ一葉もふさす村りみち
水降ふさそあちつり毛宗をり

世 友 義

東都石町四町目
大横町董齋
号中嶽外史
松本正助

梅垣ハきりしき道をもくみあ
折まひ水く流るるあそ毛むき
白萩のつゆふい初雪う舞場片
あそこのさそいあそ

世 友 千 井

東都通油町
上山氏名伸諸字
仲義好詩作和歌
傍遊俳優有二子
云伸道伸長共秘
發句俳諧

こころ楊花う道とやをりあそ
あそこのさそいあそ
待宵や酒うめきしあそ
く免買うあそとあそ 年取あそ

世 友 夕 山

奥州磐城湯本
武藏屋宗助

あそこのさそいあそ
田うらふり水も難の縁きあそ
あそこのさそいあそ
宇川世宗のあそ掃うるあそ上

武州松山在平村
便所同慶松山町
吉見屋吉兵衛
東都便坂堀江子
三町目
鈴木屋伊助

武州二郷半領
小向村
酒井屋權四郎

房州長挾産
東都芝口三丁目
佐野屋重次郎

常陸土浦藩
号緑亭又練齋
掃石道人
潮田氏

貞晨高干瑞
可き此日もあるんを
道御行も
望こし子婦もなまも
以てしんもそや小をん
おのち

酒 歌 真 青 洲
おまけし
柱のし
し
ら

雲 陽 高 聖 蕭
おまけし
さ
音
子

櫻 明 居 晴 河
細
汐
所
を

セ

東都羽神下
袋物肆
東屋藤五郎

下總香取郡
内山村飯田氏

下總香取郡
植房村
号衆妙菴
山崎源左門

下総千葉郡
毛見川宮之末
能勢三左門

松園切竹

明早和まゆにのこもるのあか
夜入る生愛つるかまつま
人静や山の向うか月のさと
産垣のふりつけちる布申田うぬ

十之樓西湖

ふかてり馬不供をうりまあるま
海一あかかんくまをん竹極る
まもいりかあま踊るま江と際
持けを余まうりまをのり

豊翠庵稍山

のあまや位みくまうり日のみ
ことくまを海とかりり桐
石松昔の若き掃切らまをん
まをまの二人おまは念うぬ

橋堂成雨

自由まやまの葉まのまもる
並みまを秋まの舟を橋の舟
ふれまのれまをまをまをま
ゆまをんまをまをまを池の鴨

東都

沙羅奔郎之
花のやうに物もなほしつゝ
藤人お菓子名をさすみまふ
花く迎へて焼く島あす
浪ありのさあし切丸や石鼓の系

南涯精齋

あきまゝにやうにやうに海の舟
あゝんゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
おいらゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

芥眉菴芥眉

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

喜秋樓子

序校のさゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
序甲にふゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
田子のあゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
因西をさゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

武川川肥城
西田中卯
田中新右衛門
画号麗南史

大改周防町心
齋橋筋東
号五春社

東都芝山下
屋敷麻布一
本松佐
岡崎環

下總葛飾逆
井小村
河野善重門

東都小川町
大銀杏之邊
丹國藩坪井氏
号俳海閑人

東都産
關口次郎兵衛
岡崎藩臣
關開月菴世塵
之號又有異号
号芦廼屋之号

常陸人江戸白
角屋鋪住
大久保良助
号國杏舎

世園山風

うち家々人柄あふれ入る所
多々をわたりて又まゝを田々
乳りいれりいれりいれり月夜に
餅搗やまゝをいれりいれりいれり

柯月ききき

うらうらうらうら井のまじし梅柳
石のまじし宿の軒のまじし紫雲
うらうらうらうら沖津の川也和氣
梅柳のまじしあまのまじしあまの

杉雨菴世塵

月夜にわらわらわらわらわらわら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら

関 菴 小 菴

うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら

セ

百十一

田
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

雪石亭青義

東都小傳馬町
大阪屋十五郎

此歌先、其の月、折れ月夜を
まに峰、まをく人のな、いけり
未折や入おとあり、いめさ、う素
柳、うと折れ、まを、水、花、中

解 菴 水 哉

駿陽沼津藩
東都外櫻田住
小林篤右衛門
号推々本

あまのうらみ、うらみ、うらみ、よと、言、い、多
起、し、の、うらみ、うらみ、うらみ、後、うらみ、
我、うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、
あまのうらみ、うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、

柳 燈 舍 翠 鳩

東都神田紺屋
町二町目
加賀屋
牧野安之助

うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、
うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、
うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、
うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、

六 九 菴 隨 風

東武浅草新堀
号風詰坊又恬淡
齋光山

うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、
うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、
うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、
うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、うらみ、

越之... 山... 梅輝子
 福... 柳... 南枝
 夜... 柳... 光子
 掃... 柳... 柳女
 茂... 柳... 龜云
 聖... 柳... 史矢
 了... 柳... 貴水
 淡... 柳... 景山
 寧... 柳...

瑞... 柳... 有節
 ち... 柳... 碩布
 ち... 柳... 塞馬
 入... 柳... 天羊
 植... 柳... 大政
 柳... 柳... 野寺
 坵... 柳... 洞堂

越後 洞堂
大石 大政
野 野寺
天 天羊
塞 塞馬
碩 碩布
有 有節
景 景山

市田精徳の母くく新ききく
起肇
秋入るふくちかけくくわくわく
寄正
義くけやんくくくらく人きき
得一
麻州やぬくかくこのまこくく
三正
引くまぬくくく降ぬ月ゆ
池
冬くくくくくくくく魚くく
南溪
朝や水き北あくまの水き上
家子
故まゆく月くくくく
吉良
くくくくくくくくくく
合羽大河

因西くくくくくくくく
道田
山をくくく三粒きく日か
院羅
一甲山群くくくくくく
一風
紫陽やくく水きとみ川のい
紫山
近き羽織みくくくく
存月
我もゆく土子の小室や
一公
清羅女
次女用心くく
市申き月
子月
水仙女新のくくく
芝耕
竹共備
有くくくくく
小が
兵庫
徐全

花より草より子より孫より山のを
 終良をうしてまきの桶を水
 ぬるすのまはなまをちるさくら
 葉の塩や川板のやせはいささか
 よまよここの数のむらつま 舞の意
 世一粒は者よりまは女は柳
 花のまきまき入口まきまき 流るる
 まきの糸探まきまき 流るる
 流るるこゝに母のこゝるまきまき
 曲成

風名より花より子より孫より 理柳
 花より草より子より孫より 下
 水より草より子より孫より 沙郷
 難のなまきまきまき 月表
 花より草より子より孫より 青
 牛より草より子より孫より 峰
 花より草より子より孫より 月
 花より草より子より孫より 蓬
 花より草より子より孫より 清耳

後鳥

常陸 三塊

柳賀

文賀

杉雨

夜来

花川

栢柴

曲成

衣月

下

沙郷

青

仙菜

峰

月

蓬

清耳

古今千五百題

黒瀬曾見前輯

二冊

此書、俗社の昔白を芭蕉道翁よりとり
めり、今世の人好むを度く、採集めらねど
跋紙千五百句、有七千、小條、以のり、
新跋、めり、此書、小成、めり、

梅室家集

二冊

此、梅室公の自らの句を撰ぶ、おれ、
門人、遠披、可く、上梓、を、
口納、を、か、り、
南勢菊所翁標注

梅室附合集

南勢菊所翁標注

一冊

此、書、梅室公の附合集、
利、と、
此世の附方を、
此、書、
此、書、

草書千字文

屋代先生書

一冊

此、書、
千字文、
此、書、

草書前赤録賦

天民先生書

一冊

此、書、
あり、
可い、

小学題辭

龍沢先生書

一冊

此、書、
生、

玄對先生画譜

三冊

この書ハ人物を考の類を玄對先生の畫
習ふ人の手本中々かゝるたふありその奇
絶ありと云ふ本は浅く再々く又のあり
如稚畫手本 柳烟堂主人筆

この書ハ山の人物を考の類を玄對先生の畫
習ふ人の手本中々かゝるたふありその奇
絶ありと云ふ本は浅く再々く又のあり

照時客應接

和田信定先生秘授 一冊

この書ハ武家方應答の礼進退の事酒宴
陪話あり作法を巨細にまづ一宿主とて
心得るべきを浅く記しと云ふ一冊
と云ふ一冊は偷りたるものなり常々熟練し
片時とせざるありと云ふ一冊

廣益諸家人名録

詩佛 五山 兩先生序 一冊

この書ハ儒家画意圖字有職家より義訓
定家定家ありと云ふ一冊は別号位不台日本
より考へて記しと云ふ一冊は諸方を考へる
いと徳と云ふあり

賣鉛土平傳

舳羅山人著

一冊

此の書ハ伝方江戸小伝賣土平といふものあり
跡不取中をいふと云ふは小伝を唱へ賣物あり
解ありと云ふは小伝を唱へ賣物あり
と云ふものありと云ふは土平の傳を記しあり詳
しと云ふあり

武家用文章

一冊

この書ハ武家方の文章公用而能切裁より
たゞめく伺書致す而書体状重らよの
形跡納帯代あり目録ありいさす才て巨細
小志ありまより家におよりていさかみの
遠くありとも大くあはれ書を規矩所て
たのふとあり

唐物語

西行上人作

清水濱臣大人撰注

一冊

この書ハと致し能故予どもは家園の花
小初とを致し致し致し致し致し致し致し
西行上人の作ありと致し致し致し致し致し
致し致し致し致し致し致し致し致し致し
大人撰安小いに致し致し致し致し致し

金生樹譜

長生舎主人編

三冊

この書ハ草木株の培小書之カカヒヤウ
接木の志を致し致し致し致し致し致し
志し又諸國の名木を圖し其末内を
致し草木を愛敬し人必熟後て
心得おく致し致し致し致し致し

裁縫早手引

一冊

この書ハ衣袴裁縫の縫やう致し致し
を致し致し致し致し致し致し致し
と致し致し致し致し致し致し致し

江戸町法

一冊

この書ハ大江戸町法致し致し致し致し
致し致し致し致し致し致し致し
致し致し致し致し致し致し致し
致し致し致し致し致し致し致し

俳諧人名録後編

近刻

書肆

江戸日本橋四日市

上總屋利兵衛

同 惣兵衛



6301

6037

Faint vertical text, possibly bleed-through from the reverse side.

三冊

